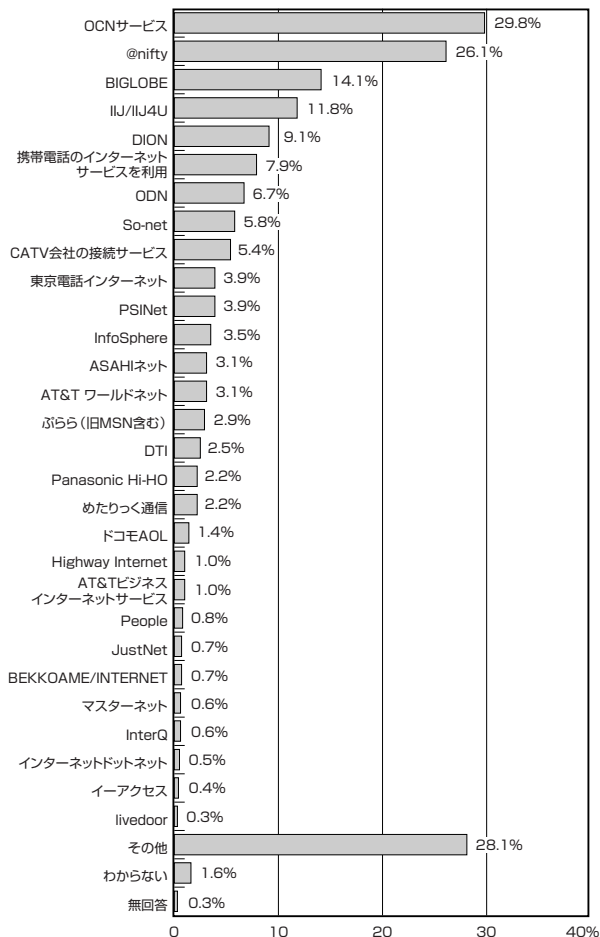


第4章 企業

契約プロバイダー

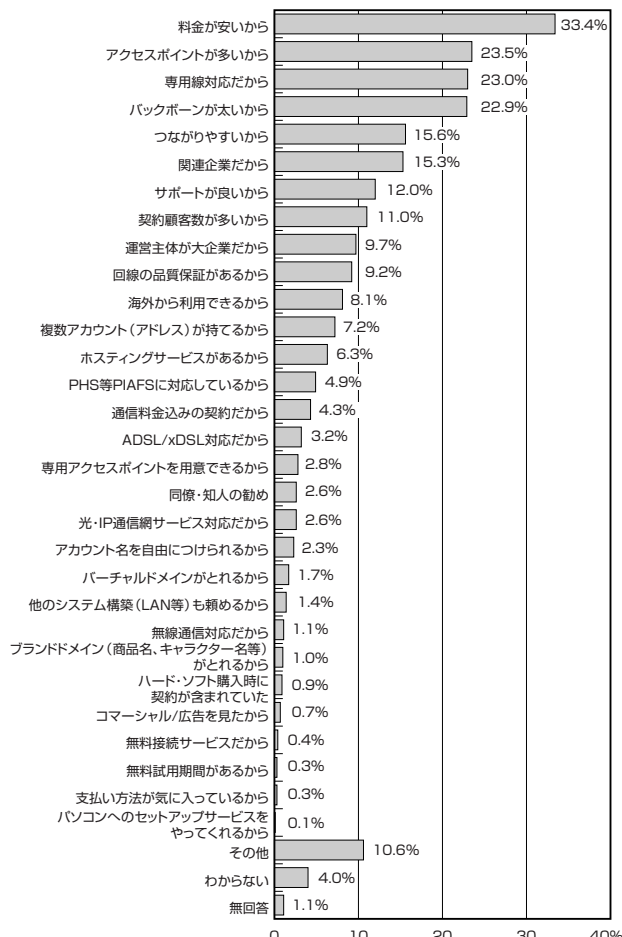
OCNが僅差でnifty抜く

資料1-4-14 主な契約プロバイダー N=1,662



インターネット白書2001 ©インプレス, Access Media International,2001

資料1-4-15 プロバイダーの選択理由 N=1,662



インターネット白書2001 ©インプレス, Access Media International,2001

解説

■契約プロバイダー

企業が主に契約しているプロバイダーは、今回の調査で調査開始以来初めて1位が入り替わった。今年の1位は「OCNサービス」で29.8%である。比較的后発ではあったがここ数年で大手キャリア系のプロバイダーは着実に利用者を増やしており、特に企業においてはこの「OCNサービス」が1位になったことでも顕著である。次いで僅差で「@nifty」(26.1%)、「BIGLOBE」(14.1%)、「IJ/JIJ4U」(11.8%)、昨年10月に同じく大手キャリア系のNEWEBと合併した「DION」

(9.1%)が上位を占める。パソコン利用者の調査同様、今年初めて「携帯電話のインターネットサービス」という選択肢を加えたが、企業では個人利用者ほど上位ではなく、6位に留まっている。今年の結果ではこの「携帯電話のインターネットサービス」と昨年14位から今年9位に急上昇した「CATV会社の接続サービス」が注目に値する。

企業のプロバイダー選択理由は、例年「料金」「アクセスポイント」の上位2項目は不動であるが、今年3位以下は「専用線対応だから」(23.0%)や「バック

クボーンが太いから」(22.9%)と、いわゆるブロードバンドをにらんだ高速アクセスへの意向が見受けられる。これは昨年までの「高速回線に対応しているから」というやや曖昧な選択肢を細分化したものであるが、企業利用におけるキャリア系プロバイダー支持の高さを裏付ける結果となっている。また、昨年同様「料金が安いから」が特に10人未満のSOHO企業に支持されているのも特徴的である。

■通信環境

企業のプロバイダーとの契約形態は、当然ながら「法人契約」が84.8%を占め



[インターネット白書 ARCHIVES] ご利用上の注意

このファイルは、株式会社インプレスR&Dが1996年～2012年までに発行したインターネットの年鑑『インターネット白書』の誌面をPDF化し、「インターネット白書 ARCHIVES」として以下のウェブサイトで公開しているものです。

<http://IWParchives.jp/>

このファイルをご利用いただくにあたり、下記の注意事項を必ずお読みください。

- 記載されている内容(技術解説、データ、URL、名称など)は発行当時のものです。
- 収録されている内容は著作権法上の保護を受けています。著作権はそれぞれの記事の著作者(執筆者、写真・図の作成者、編集部など)が保持しています。
- 著作者から許諾が得られなかった著作物は掲載されていない場合があります。
- このファイルの内容を改変したり、商用目的として再利用したりすることはできません。あくまで個人や企業の非商用利用での閲覧、複製、送信に限られます。
- 収録されている内容を何らかの媒体に引用としてご利用される際は、出典として媒体名および年号、該当ページ番号、発行元(株式会社インプレスR&D)などの情報をご明記ください。
- オリジナルの発行時点では、株式会社インプレスR&D(初期は株式会社インプレス)と著作権者は内容が正確なものであるように最大限に努めました。すべての情報が完全に正確であることは保証できません。このファイルの内容に起因する直接および間接的な損害に対して、一切の責任を負いません。お客様個人の責任においてご利用ください。

お問い合わせ先

株式会社インプレス R&D

✉ iwp-info@impress.co.jp